

行都高第 51 号

平成20年11月11日

国土交通省道路局長 様

福岡県行橋市長 八 並 康 一



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記の件について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- 1、地域の発展基盤である道路行政に、日夜ご努力頂いている事に対しまして、厚く感謝の意を表します。行橋市を中心とする京築地域は今日、東九州自動車道の建設がようやく軌道に乗り、北九州・苅田間では北九州空港開港にあわせて供用が開始され、それ以南も現在急ピッチで設計協議や用地交渉が進み、一部工事の発注も行われるまでになって参りました。これに併せまして国道や県道、市町道も既存の道路整備や新規道路の計画などが進められています。当市・行橋市内では吉国インターを交差する国道201号線バイパス建設事業も、国土交通省のご配慮で、高速道路開通までに建設完了を目途に事業が進められており、厚く御礼申し上げます。
このバイパスに向かって、現在の国道201号線から安川電機前を通り、行橋市西泉からみやこ町豊津を通過して大分県中津市耶馬溪町に到る国道496号線がございますが、この国道201号線から新たに建設される国道201号線バイパスに繋ぎ、苅田町猪熊に到る都市計画道路を建設し、円滑な交通体系を確立したく、現在、県と協議し都市計画変更などの手続きを行っています。今、国道496号線の行橋市内では、特に今川に架かるみやこ大橋の両サイドには、大型商業施設が次々に活動を開始し、朝夕の通勤時や買い物客で賑わう時間帯は、土日関係なく常時渋滞模様であります。将来の円滑な交通体系の整備に向けまして、県共々頑張ってもらいますので、ご指導、ご支援方をよろしくお願いいたします。
- 2、当市の近年の大課題でありました国道10号線行橋市内の4車線化につきましては、急ピッチで取り組んで頂いておりまして、市民や他町の住民の皆様から感謝の気持ちを多々頂いております。市民を代表いたしまして心から感謝申し上げます。後、少しではございますが、道路財源の一般財源化などの大課題を抱えられて大変だとは存じますが、是非とも目標年次完成に向けましてご尽力賜りますよう、よろしくお願いいたします。
- 3、こうした国道や県道の整備が促進される中で、安全な通学道路の整備や未だ救急車や消防車が全く入れない市道などが多数存在いたします。こうした道路整備は市にとりまして緊急な課題であり、市民からの切実な要望がなされています。一方、ご承知のとおり、わが国の財政構造を変革し、健全な財政に移行させたいと地方に対しては、この8年近く毎年のように、地方交付税などが驚愕するほど大幅に減額され、一方で少子高齢社会の影響が扶助費の伸びは急カーブの上昇であります。こうした背景の中、市といたしましても徹底した行財政改革を行いながら何とか対応いたしておりますが、このために必要不可欠な道路建設などを延期したり、断念したりせざるを得ない状況となっております。
国土交通省におかれましては、是非とも地方における道路整備の財源確保にご尽力賜りますよう、切にお願い申し上げます。
- 4、当市内には、従来からの地場企業である電気産業をはじめ、ここ十年以前から自動車産業の活発化に伴いまして、関連企業の進出が著しく、特に企業団地として市が整備拡大を行っています稲童工業団地に進出している企業製品の集出荷において、大型車の通過する道路やまた苅田町、北九州、或いは大分県中津などの自動車メーカーへのジャストインタイムでの納入などで、円滑な交通体系の整備が急がれており、国、県の関係部局との協議などを進めさせていただいております。企業からも強い要望がなされており、市にとりまして正に喫緊の大課題であります。今後ともご支援ご尽力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。
- 5、地方道の整備は地方でとの強い声も、政界などの関係者から発せられておりますが、財源を持たず機能的にもまだまだであり、私たちが資質向上に全力で頑張る参りたいと思っておりますが、今後とも暖かいご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。